秋田県障害者スポーツ協会だより

令和４年３月１日発行 第2021-2号
一般社団法人 秋田県障害者スポーツ協会事務局
〒010-0922 秋田市旭北栄町１番５号
（秋田県社会福祉会館内５階）
TEL 018-864-2750 FAX 018-874-9467
Eメール info@akita-sports.jp
HPアドレス http://www.akita-sports.jp/

秋田県から東京2020パラリンピック競技大会へ聖火を送りました



（左）佐竹敬久秋田県知事 （右）佐々木光雄秋田県障害者スポーツ協会長

昨年開催された東京2020パラリンピック競技大会に向けて、秋田県内25市町村で採火した聖火を一つにする集火式が8月16日に秋田市で行われました。

各市町村の代表者が一つのランタンに集めた、多くの思いが込められた火は、続く出立式で佐竹敬久秋田県知事から、当協会の佐々木光雄会長のトーチへと移されました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、秋田県内で集められた火は当初の東京へ運ぶ計画から、集火式の様子を収めた映像等で東京へ送り届けられました。

秋田県出身選手が活躍しました



熊谷選手（提供 JPC）

秋田市出身の熊谷豊選手が陸上男子マラソン（視覚障害T12）に出場。競技は大会最終日の9月5日、国立競技場を発着とするコースで行われ、結果は2時間31分32秒の7位。最後まで粘り強い走りを見せてくれた熊谷選手。今後の活躍にも注目です！！



菅原選手

菅原紘汰選手（運動機能障害S5）は、5月開催のジャパンパラ水泳競技大会50m背泳ぎで日本新記録をマークしましたが、派遣基準記録を突破できず補欠に。8月上旬に補欠の期限が切れ、出場が叶いませんでした。

東京2020パラリンピック競技大会で活動した皆さんです

【障がい者スポーツ医　藤井 昌先生】　（写真右側）



2021年9月2日～5日の4日間、TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMESにATHLETE DOCTOR として参加してきました。2019年、私はフランスに留学中でしたが、障がい者スポーツ医の資格を保有していたこともあり、秋田大学整形外科の島田洋一名誉教授のご推薦で出務が決まりました。

私に与えられた役割は、国立競技場で陸上競技に参加する選手のメディカルサポートでした。医師、理学療法士、針灸師等で6名程度のグループを構成し、フィールドの各エリアに分かれて、グループ間の連携を取りながら有事に備えるという業務内容でした。各セッションの前にはグループごとのロールプレイで、障害の種類、レベルや外傷に合わせた対応を何度もシミュレーションしました。

これまで様々なスポーツ現場に携わってきましたが、パラアスリートのサポートが最も複雑で、高いレベルと経験が要求されると感じました。この非常に有意義な経験を、今後の秋田でのスポーツ支援に役立てていきたいと考えています。



【上級指導員　髙野 寿妙さん】（写真後列右から4番目）

史上初の延期・無観客開催という大会でしたが、「やるとなったら少しでもいい大会になるよう役に立ちたい」と思い秋田を出発しました。

車いすバスケットボール競技会場で8月25日～8月29日まで活動し、初日はアスリートエリアでアクセスコントロール、2日目以降はプレス対応という業務内容でした。大手商社・企業からボランティアに参加しているメンバーもおり、個々のスキルと周囲の協力で、寛容な大会でありながらも一つの方向へ向かっていく光景をプレス席で目にした瞬間、素直に感動を覚えました。

私のようにパラスポーツとは全く畑の違う仕事をし、ボランティアに興味を持つ人が一歩踏み出すきっかけになるよう、これからこの大会で得たスポーツの力を信じて発信していきたいと思います。

【障がい者スポーツトレーナー・中級指導員　鈴木 郁美さん】





2017年から国内大会のコンディショニングスタッフとして活動するようになり、日本ボッチャ協会推薦の元、東京2020パラリンピック競技大会ボッチャ会場における選手用医務室スタッフとして活動することが決まりました。

会場は有明体操競技場、活動期間は競技に合わせて8月28日～9月4日までした。医務室スタッフは医師、看護師、理学療法士で構成され、FOP・ウォームアップコート・選手用医務室でそれぞれ待機し、依頼時や緊急事態時の対応に当たることになりました。また、1日の流れは「チェックイン→医務室でPCR検査→ミーティング→各配置場所で待機→交代で食事→選手全員が体育館から退出次第活動終了」であり、主な依頼内容は切り傷の対応、発疹に対する処方、腰痛に対するモビライゼーション、体調不良対応、屋外休憩室の設置等多岐に渡りました。ボッチャ選手は専属トレーナーや介助スタッフを帯同させていることが多いため、今回選手の対応はありませんでしたが、会場全体の状況にあわせて医師と対応を検討したり、コロナ対策を実施したりと、競技会場において様々な視点を持って活動できたと感じております。

第20回秋田県障害者スポーツ大会のお知らせ

第23回全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）、第23回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技（精神障害者の部）北海道・東北ブロック予選会の選手派遣選考大会となります。

申込関係書類は4月中旬に申込取りまとめ先に送付します。
また、状況に応じた新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら開催する予定です。

期日	競技	会場
8月20日(土)	一般卓球	秋田テルサ 体育館
	ボッチャ	秋田県心身障害者総合福祉センター 体育館
9月10日(土)	水泳	秋田県立総合プール サブプール
	アーチェリー	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター グラウンド
	サウンドテーブルテニス	秋田県心身障害者総合福祉センター 体育館
	ボウリング	ロックンボウル
9月23日(金・祝)	陸上競技	秋田県立中央公園 陸上競技場
	フライングディスク	秋田県立中央公園 球技場
	バレーボール(精神障害)	秋田県立中央公園 アリーナ

第22回全国障害者スポーツ大会（栃木大会）秋田県選手団個人競技の選手選考と派遣について

【選手選考方法】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により予選大会が中止になりました。これに伴い、栃木大会の選手は次の2点を基準として選考することとなりました。

①直近の大会結果・記録をもとに選考

②参考となる自己記録・結果を記載した推薦応募書類をもとに選考　※提出期間 4月1日（金）～5月10日（火）

栃木大会出場希望者で、推薦応募制を活用したいという方は、推薦要領を十分にご確認のうえ推薦機関・団体にて申込手続きをしてください。書類は当協会ホームページ（各種ダウンロード）にもアップロードしております。

選手選考委員会（5月中旬開催予定）において候補選手を決定し、候補選手に決定した場合にのみ本人または推薦機関・団体へ通知します。

【栃木大会への派遣】

・大会期間　10月29日（土）～31日（月）
・派遣期間　10月27日（木）～11月1日（火）
・派遣競技　個人競技　7競技（身体障害者15名、知的障害者11名、精神障害者2名の予定）
　　団体競技　北海道・東北ブロック予選会で優勝し出場権を獲得した場合に出場

許可番号 とちぎ国体・大会承認第1-32号



ボッチャ競技の選手発掘にご協力をお願いします

県大会参加申込者が少数かつ全員が座位区分の選手であり、とりわけ立位区分の選手発掘が急務です。

全スポには座位・立位区分の選手をセットで派遣することになっています。

右の障害区分表を参考に該当する選手がおりましたら、是非競技に挑戦し県大会出場をご検討ください。

ご不明な点はいつでもご連絡ください。



【障害区分表】

			区分番号	障害区分	競技スタイル	
					立位	座位
肢体不自由	1	切断・機能障害	1	多肢切断または、両下肢完全で立位	◎	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	第６頸髄まで残存		◎
			3	第７頸髄まで残存		◎
			4	第８頸髄まで残存		◎
			5	多肢切断		◎
	3	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用		◎
			7	けって移動		◎
			8	片上下肢で車いす常用または、使用		◎
			9	その他走不能	◎	
	4		10	電動車いす常用		◎